

アフィリエイトによる広告の問題

ヤフー
マーケティングソリューションズカンパニー
オペレーション本部ポリシー室
アドポリシーリーダー

● 中村 茜氏

当社メディアへ掲載を申し込まれる広告のうち、一部のアフィリエイトによる広告や、広告から誘導されるアフィリエイトサイト上で、次のような問題が起きています。

審査通過後のサイトチェンジ

①昼間と夜間は違うサイト
あるアフィリエイトサイトで医薬品医療機器等法（薬機法）に抵触するような表示が見られました。このケースでは、昼間に審査し問題はな

いとされたサイトが、夜間、異なる表示に変更されていたのです。例えばSNSに掲載されている写真をおそらく無許諾で使用したであろうものや、ピフォー・アフターの写真を使って「シミが消える」とうたうものなど、通常の審査では間違いなく掲載不可とする表示が複数見つかりました。

当社の広告審査は広告掲載後も、365日、24時間体制で行っています。出稿者は通常の営業時間を意図

的に避けてサイトチェンジを行ったものと思われませんが、このようなものも見つけ出し対応することがあります。

②PCとスマホで異なるサイト
PCとスマートフォン（スマホ）で全く異なるサイトを作っているケースもありました。

最近ではスマホが主流になっており、スマホをメインとしたプロモーション展開をすることがあります。アフィリエイトの中には、PCでは全く問題のないサイトを用意しながら、スマホ用のサイトでは薬機法上の問題となる表示をしているものが見つかるとあります。これに対しては、PCだけでなく、スマホでも審査するという対策を取っています。

③商品のチェンジ
件数は多くありませんが、昼間と夜間で販売する商品を入れ替えていたケースもありました。アフィリエイトサイト上で、昼間と夜間で同じ商品名ながら全く別のものを掲載していたのです。夜間に掲載された商品の広告には薬機法上問題となる表示が見つかりました。同じ商品名のもので入れ替えることで、当社メディアに掲載されている広告との不

Special Topic



Yahoo! プロモーション広告公式ラーニングポータル

問題となる事例を見るとき、一つの商品について、複数のアフィリエイトサイトが似たようなアフィリエイトサイトを作成し、広告掲載を申し込んできると、気が付きます。特に化粧品やダイエット用食品などで「シミが消える」「飲むだけで瘦せる」などといった分かりやすい違反事例もまだまだ多いです。

当社にとって、アフィリ

適合を起こさずに、広告掲載を継続していたのです。

④ 休日のみ違反広告

休日に広告を配信したい広告主のために、曜日や時間帯を指定して配信する機能があるのですが、この機能を悪用していたケースもありました。休日を指定して問題広告を配信していたのです。また、通常、入稿された広告素材は配信後も管理画面に記録として残っていますが、悪用されたケースでは広告掲載後管理画面からすっきり削除され、休日明けの月曜日の朝には痕跡がなく問題広告の確認がなくなったという悪質なものでした。もちろん当社では入

サイトチェンジへの対策

今話したような問題に対し、さまざまな対策を行っています。夜間や休日といった審査のすき間を狙って問題となる広告を掲載している一部のアフィリエイトに対しては、審査を強化するなどの対策を実施しています。また、通常の審査（昼間の時間帯の審査）の通過後にサイトチェンジされると、人の目だけの対応ではなかなか難しい部分もありますので、システムによる対処も同時に行っているところです。

稿・配信の履歴を追跡することで確認ができますので、このような状況であったことを確認できました。

エイターは広告掲載契約を申し込む広告主ですが、広告からのリンク先であるアフィリエイトサイトで紹介されている商品の販売者と当社は契約関係にありません。従って、アフィリエイトサイトの表示に問題があり修正等をお願いできる相手はアフィリエイトであり、アフィリエイトサイト上での商品の宣伝を求めらる商品の販売者とコンタクトが取りづらい点が一つの課題かもしれません。

さらに、アフィリエイトは個人に

よる参加も可能で裾野も広く、乗機法等による広告表示規制を知らないばかりに、うっかり法令違反となってしまう場合もあると思います。当社でもYahoo!プロモーション広告公式ラーニングポータル（左上画像）という啓発サイトを運営し、広告主の皆さま向けに幅広い情報提供を実施しているところです。

今後も各業界団体やASP、またJAROさんと協力しながら問題のある広告の排除、正しい理解の推進に取り組みしていきたいと思っております。